

平成29年度行政事業レビューシート ( 警察庁 )

<b>事業名</b>	警察学校射撃場のバックストップ用特殊ゴムの整備			<b>担当部局庁</b>	長官官房			<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始年度</b>	平成18年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	人事課(教養)			参事官(教養) 高菜 圭一				
<b>会計区分</b>	一般会計											
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	警察法第37条第1項第2号 警察法施行令第2条第2号			<b>関係する計画、通知等</b>	-							
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費							
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	警察学校射撃場で行う射撃訓練時に発射された弾丸が、バックストップ(金属製)に衝突、破砕することで発生する鉛粉塵により、射撃場の環境汚染及び鉛粉塵の吸引等による職員の健康障害の発症が懸念され、平成18年度より、順次、警察学校射撃場の改修工事を行い、弾丸が破砕しないゴム製のバックストップに変更したところであり、このゴム製バックストップを適切に維持管理することにより、射撃場の環境汚染の防止及び職員の衛生管理を推進するものである。											
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	ゴムシートが積層された吊り下げ式バックストップ等については、停弾用の特殊ゴム(消耗品)が設置された仕様となっており、射撃時の弾丸の着弾・貫通により、特殊ゴムが損耗していき、一定数の着弾等で特殊ゴムを交換する必要がある。また、精密射撃等の着弾位置が集中する訓練を行うことにより、一定の部位が著しく劣化し、そのまま放置すれば特殊ゴムに穴が開くほか、他のパーツにまで被弾しての損壊や跳弾発生のおそれがある。このため適切な時期に特殊ゴムを交換し、バックストップとしての性能を維持することにより、射撃場内の安全と良好な環境を保つ。											
<b>実施方法</b>	委託・請負											
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	26年度	122	27年度	122	28年度	91	29年度	91	30年度要求	135
		補正予算	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		予備費等	8	3	44							
		計	130	125	135	91	135					
	執行額	130	125	135								
	執行率(%)	100%	100%	100%								
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	107%	102%	148%									
<b>平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)</b>	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由								
	消耗品費	61	67	契約実績を予算額に反映したもの。								
	雑役務費	30	68									
	計	91	135									
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度				
	拳銃射撃訓練時における衛生管理対策の向上	環境測定における鉛管理濃度基準値達成(※)施設数(※達成とは、評価が第1管理区分又は第2管理区分とされたものとした。なお、測定未実施施設が平成26年度は6施設、平成27年度は7施設、平成28年度は4施設ある。)	成果実績	施設	16	17	19	-	-			
			目標値	施設	28	28	28	-	-			
			達成度	%	57.1	60.7	67.9	-	-			
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	長官官房人事課(教養)調べ											
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度				
	拳銃射撃訓練時における安全の確保	バックストップに起因する跳弾による受傷事故件数	成果実績	件	0	0	0	-	-			
			目標値	件	0	0	0	-	-			
			達成度	%	100	100	100	-	-			

根拠として用いた統計・データ名(出典)		長官官房人事課(教養)調べ						
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込
	特殊ゴム交換を行った施設数	活動実績	施設	27	27	27	-	-
		当初見込み	施設	28	28	28	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	年間執行額/施設	単位当たりコスト	百万円	5	5	5	5	
		計算式	百万円/施設		130/27	125/27	135/27	135/27
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	1 市民生活の安全と平穩の確保						
		施策	1 総合的な犯罪抑止対策の推進					
	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度
	地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(重要犯罪(注)) (注) 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ	実績値	件	13,865	12,323	11,300	-	
		目標値	件	14,504	14,371	13,907	-	13,309
	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
	地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(住宅対象侵入犯罪(注)) (注) 住宅強盗、空き巣、忍込み、居空き及び住居侵入	実績値	件	65,140	61,772	54,278	-	
		目標値	件	87,789	80,360	74,014	-	67,754
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
	教育訓練を受けた警察職員の延べ人数(人日数)	-	-	警察職員の教育訓練について、統一的な水準で維持向上を図る。				
				施策の進捗状況(実績)				
				26年度 4,209,828 27年度 4,106,206 28年度 4,039,885				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係							
	各級警察学校及び職場における教育を一体的、計画的に推進し、警察職員に教育を受けさせることは、総合的な犯罪抑止対策につながる。							
	改革項目	分野:	-	-				
(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-
	目標値	-	-	-	-	-	-	-
達成度	%	-	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-
	目標値	-	-	-	-	-	-	-
達成度	%	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係								
-								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	公共の安全と秩序の維持に当たることは警察の責務であり、その活動の基盤となる				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	警察法及び警察法施行令の規定により、警察教養施設の維持管理に係る経費は、国庫支弁することとされている。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	ゴム製バックストップの機能維持管理することにより、射撃場内の安全・環境汚染の防止及び職員の衛生管理を行う必要があり、優先度の高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	調達にあつたては、経済性、効率性について十分に検討した上で、一般競争入札を実施しており、競争性も確保している。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となつたものはないか。	有					
	競争性のない随意契約となつたものはないか。	無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	警察法及び警察法施行令の規定により、警察教養施設の維持管理に係る経費は、国庫支弁することとされている。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	ゴム製バックストップの機能維持管理に必要な費用であり妥当である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	ゴム製バックストップの機能維持管理に限定した執行を実施している。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	射撃訓練の支障が生じないように維持管理等行われおり、成果目標に見合っている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	仕様の見直し等を行い、コスト削減方策の検討に努めている。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	警察学校射撃場は警察官の射撃訓練を行う施設として十分に活用されている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-				
	所管府省名	事業番号		事業名			
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「事業の目的」に示すとおり重要な施策であることから、引き続き、バックストップの機能維持管理をすることにより、射撃場の安全・環境汚染の防止及び職員の衛生管理を行うことが必要であるところ、射撃訓練の支障が生じないように仕様の見直し等を行い、今後更なる経費削減が課題となっている。					
	改善の方向性	本経費は、バックストップの機能維持管理をすることにより、射撃場の安全・環境汚染の防止及び職員の衛生管理を行うことが必要不可欠であり、継続して実施する必要がある。また、新たな特殊ゴムに交換を実施する場合においても既存の特殊ゴムの損耗状況等を見直すなど内容の精査を行っているほか、契約に関しては一般競争入札を実施するとともに、過去の調達実績を反映し、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正に努める。					
<b>外部有識者の所見</b>							
将来的にバックストップの仕様を見直すなど、効率的な予算執行に努めること。							
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>							
通現り状	引き続き、バックストップの仕様を見直すなど、適性かつ効率的な予算執行に努めること。						
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>							
通現り状	引き続き、事業内容の見直し等を実施した。						
<b>備考</b>							
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>							
平成22年度	当初11	平成23年度	57	平成24年度	42		
平成25年度	14	平成26年度	15	平成27年度	13		
平成28年度	14						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁  
135百万円

警察教養に要する経費を地方機関、都道府県警察に予算配賦

【予算配賦】

A. 地方機関

近畿管区警察学校  
7百万円

地方機関機関  
(6機関)  
17百万円

物品購入等を支出

【予算配賦】

C. 都道府県警察

警視庁  
14百万円

都道府県警察本部  
(19機関)  
97百万円

物品購入等を支出

<物品購入等>  
【一般競争契約(最低価格)】

B. 民間会社  
(1者)  
7百万円

警察教養に必要な  
物品を納入・設置

<物品購入等>  
【一般競争契約(最低価格)】

D. 民間会社  
(1者)  
14百万円

警察教養に必要な  
物品を納入・設置

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて  
補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で表情が 分かるように記 載）	A.近畿管区警察学校			B.(株)京三製作所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	予算配賦	警察教養に要する経費	7	物品購入費等	射撃場バックストップ設備改修業務	7
	計		7	計		7
	C.警視庁			D.(株)京三製作所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
予算配賦	警察教養に要する経費	14	物品購入費等	射撃場バックストップ設備改修業務	14	
計		14	計		14	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)京三製作所	6020001017093	射撃場バックストップ設備 改修業務	7	一般競争契約 (最低価格)	1	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)京三製作所	6020001017093	射撃場バックストップ設備 改修業務	7	一般競争契約 (最低価格)	1	--	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)京三製作所	6020001017093	警視庁警察学校射撃場 バックストップ用特殊ゴム等 交換委託	14	一般競争契約 (最低価格)	1	--	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)京三製作所	6020001017093	警視庁警察学校射撃場 バックストップ用特殊ゴム等 交換委託	14	一般競争契約 (最低価格)	1	--	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	